

佳作

僕のエネルギー

福島県白河市立白河第二中学校

1年 小澤 勇登

僕のエネルギーは「目標」です。この「目標」というエネルギーは、僕にとって困難を乗り越えようとしたときの心の支えや、新しいことに挑戦するときの原動力になっています。

僕の一つの目標は「卓球県大会で上位をとること」です。僕は卓球が大好きでこの目標に向かって頑張っています。

僕が卓球を始めたきっかけは100円ショップのおもちゃのラケットです。昔はそのラケットを使って、家のダイニングテーブルで卓球をしていました。そのうちに卓球に興味を持ち、競技用のラケットを買ってもらいました。そして、小学校5年生のときに卓球クラブに入り、卓球がさらに好きになりました。クラブではフォア打ちやバック打ちはもちろん、ドライブという下回転のボールを上回転に変えて打ち返す方法や、ツツキという下回転をかけて返す打ち方などを学んでいます。また、先輩とも練習ができ、いろいろなことを教えてもらっています。クラブで本格的に練習をすることができ、大会にも出ることができるようになりました。

そして僕は今年の4月に中学校に入学しました。違う学区の中学校に入学したので、長い間小学校で一緒にいたクラスメートと離れてしまいました。そのため、入学当初はとても悲しく、これからの中学校生活がとても不安でした。初めは知っている人が一人もいないので誰とも話すことができず、1週間がたっても気軽に話せる人はいませんでした。そのときは学校に行くのが嫌で、学校が早く終わらないかいつも思っていました。

そのような中、部活動見学で卓球部の見学に行きました。すると、卓球が上手な先輩がたくさんいて、僕と同じクラブに入っている憧れの先輩もいました。その後、迷わず卓球部に入り、ここで、自分の目標を達成したいと思いました。それからは卓球部の活動があるので学校が楽しみになりました。そして部活に夢中になることができ、部活の先輩や同学年の部員にも積極的に話しかけられるようになりました。それからだんだんとクラスでも話せる人が増えて、今では毎日楽しく学校生活を送っています。

また、僕には卓球の他にも挑戦したい目標があります。それは「たくさんの人に防災について考えてもらうイベントを行うこと」です。始まりは、僕が小学校6年生のときに行った「ぼうけん」という防災イベントです。「ぼうけん」

は「防災公園を体験しよう」の「防」と「験」をとった名前です。また、防災公園での冒険を楽しんでほしいという思いも込めました。

僕がこのようなイベントをしようと思ったのは近所で見つけた公園があまり使われておらず寂しい雰囲気だったからです。調べてみると、その公園は「葉ノ木平震災復興記念公園」という名前で、東日本大震災で土砂崩れの被害があった場所に作られた防災公園だということが分かりました。地元住民や市役所職員、消防士、自治会長などにインタビューして、当時の被害や防災公園の歴史、公園の防災機能を学びました。そして、この大切な公園を多くの人に知ってもらいたい、使ってもらいたいと思い、現地でイベントを行うことにしました。

当日の「ぼうけん」イベントでは、かまどベンチや防災あずまやなど、公園の防災機能を体験したり、みんなで避難グッズについて考えたりしました。参加者の方に自分で何が避難に必要か考えてもらうことでさらに理解が深まると分かりました。そして、お昼にかまどベンチで作ったカレーを食べました。このイベントは小学生を対象にして、参加者が20名以上の規模になりました。

このような経験をして、自分も防災についてさらに学び、もっと多くの参加者に考えてもらう機会を作りたいと思うようになりました。次のイベントを行うときは、中学生を対象にして、さらに規模を大きくして開催したいと考えています。できれば、消防や自衛隊などの専門の方々から、さらに詳しい知識を学べる機会にしたいです。

このように、今僕は、自分の目標をエネルギーとして、いろいろなことをしています。電気というエネルギーは、なくなったら、また新しくつくらなければ灯りはつきません。僕の「目標」というエネルギーも同じで、目標にたどり着いたとき、次のエネルギーが必要になります。一つの目標が達成できたら、さらに高い目標を設定するということをして、いつかとても大きな目標を成しとげたいです。